

令和5年度 千葉県立野田中央高等学校 シラバス

教科	国語	科目	古典B	単位数	3	クラス	3年特進・文系
教科書	新編古典B(東京書籍)		副教材等	国語便覧(大修館書店)・基礎からの古典文法(第一学習社)			

1 学習の到達目標等(科目の目標)

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	古文 随筆を味わう	『枕草子』 「ありがたきもの」	・随筆・歌物語の面白さを味わう。 ・古語の意味の広がりや理解し、言葉への関心を高める。 ・王朝の人の心情や感性に触れる。	・音読 ・語句の意味調べ ・口語訳 ・古典文法 (用言の復習)
5		『伊勢物語』 「東下り」	・登場人物の行動を通じて、人間について考察を深める。 ・用言を中心に、古典文法の基礎知識の確認を行う。 ・物語の概略を把握し、物語世界の魅力を感じ取る。	・国語便覧や辞書等の活用 ・小テスト ・定期考査
6	漢文 寓話を読む	寓話 「侵官之害」	・時代と文学との関係を考え、作品を味わうための基礎知識を深める。 ・訓点に従って漢文が読める基礎的な力をつける。	・音読 ・語句の意味調べ ・口語訳 ・古典文法 (助動詞)
7	古文 物語を味わう	『源氏物語』 「光源氏の誕生」	・後宮制度・貴族社会などの時代背景を調べ、作品理解の助けとする。 ・古語の持つ意味の広がりや理解し、言葉への関心を高める。	・国語便覧や辞書等の活用 ・小テスト ・定期考査
9	古文 物語を味わう	『源氏物語』 「若紫」(前半)	・平安時代の内裏の様子や婚姻制度などについて理解を深める。 ・平安時代女流文学のもつ普遍性を理解する。 ・古語の持つ意味の広がりや理解し、言葉への関心を高める。 ・敬語を通して人物関係を読み解く。 ・時代と文学との関係を考え、作品を味わうための基礎知識を深める。	・音読 ・漢文句法の確認 ・口語訳 ・古典文法 (助動詞・敬語)
10		『大鏡』 「道真の左遷」	・本文の内容を正しく理解する。 ・語り手の姿勢を読み取る。 ・古語の持つ意味の広がりや理解し、言葉への関心を高める。 ・敬語を通して人物関係を読み解く。	・国語便覧や辞書等の活用 ・小テスト ・定期考査
11	古文 歴史物語を味わう	『大鏡』 「道真の左遷」	・本文の内容を正しく理解する。 ・語り手の姿勢を読み取る。 ・古語の持つ意味の広がりや理解し、言葉への関心を高める。 ・敬語を通して人物関係を読み解く。	・音読 ・漢文句法の確認 ・口語訳 ・古典文法 (助動詞・敬語)
12	漢文 史記を読む	項羽と劉邦 「四面楚歌」 項羽と劉邦 「項王自刎」	・時代と文学との関係を考え、作品を味わうための基礎知識を深める。 ・訓点に従って漢文が読める基礎的な力をつける。	・国語便覧や辞書等の活用 ・小テスト ・定期考査

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1	古文	『大鏡』	・貴族社会における官位の上下を理解する。	・音読
2	歴史物語を読む	「道長、伊周の競射」	・本文の内容を正しく理解する。	・口語訳
3			・語り手の姿勢を読み取る。	・国語便覧や辞書等の活用 ・小テスト ・定期考査

3 評価の観点

関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。
話す・聞く能力	
書く能力	
読む能力	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、読む能力、知識・理解の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

確かな学力を身につけるためのアドバイス

- 1 音読をくり返す。
- 2 こまめに辞書をひくことを習慣にする。
- 3 ノートやプリントをしっかりと作り、保管をする。
- 4 毎時間、集中をして授業に参加する。

授業を受けるに当たって守って欲しい事項

- 1 課題やレポートなどの提出物は期限を守り提出する。
- 2 積極的に発表をし、わからないことはその都度解決する。